

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
<p>司会 (森下主幹)</p>	<p>1 開会</p> <p>第2回会議の開催を宣言し、委員総数20人に対し、出席者は13人であるため、「久喜市立小・中学校の統廃合に伴う新校設立準備委員会設置要綱」第6条第2項に規定する会議の開催要件を満たしていることを報告。</p> <p>また、本日の傍聴者は1人であることを報告。</p>
<p>柴崎委員長</p>	<p>2 あいさつ</p> <p><柴崎委員長あいさつ></p> <p><議事に入る前に前回議事録について確認></p>
<p>司会 (森下主幹)</p>	<p>修正点はないようなので、議事録をホームページに掲載していくことを説明。</p>
<p>司会 (森下主幹)</p>	<p>3 議事</p> <p>柴崎委員長が議長に就任する旨の報告。</p>
<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>本日の議事として、(1)新校の名称・校章・校歌に関する検討について総務部会からの報告を求める。</p>
<p>総務部会副部長 (加藤委員)</p>	<p><部会長報告>※長谷川部会長欠席のため、加藤副部会長報告。</p> <p>・名称については、「対等な統合によって新校を設立することから、生徒などから意見を聞いて、新たな名称を検討したほうがよい」、「菖蒲地区で1つの中学校となるので、地域名は残したほうがよい」などの意見があり、協議の結果、総務部会としては、『両中学校の生徒や保護者を対象に候補名を募集し、その中から総務部会において候補を3～5点に絞ったうえで、新校設立準備委員会の合議によって決定する』案を進めていきたい。</p> <p>・校章と校歌については、従来事例では、統合による新校がスタートしてから校章や校歌を制定していたので、これを参考に進めたらよいとの意見があった。</p> <p>こうしたことから、新校の名称が決定され、統合による新校が開校してから、校章については生徒等から校章のデザインを募集のうえ、学校運営協議会などで協議して決定する。校歌については概ね3年ぐらいは現在の校歌を使用し、その間に、生徒等から歌詞のフレーズを募集しながら、有識者に校歌の作成を依頼して作成するといったような形で、検討を進めて決定したらよいのではないか、という協議結果であった。</p> <p>補足説明を事務局に求める。</p>
<p>事務局 (目黒補佐)</p>	<p><事務局補足説明></p> <p>・本日の会議で委員の皆様にご承認いただいたら、学校を通じて、両中学校の生</p>

徒や保護者を対象に学校名の案を募集する調査を実施したいと考えている。

調査を通して案が集まったら、10月を目途に総務部会を開催し、その中で、候補名を3～5点に絞りたい。なお、候補名としては、現在の名称も候補になり得るものと考えている。

候補の抽出ができれば、11月中に準備委員会の全体会議を開催し、委員の皆様の投票によって、名称案の決定を行いたい。

・校章・校歌については、名称案の決定後、改めて総務部会で委員の皆様に今後の進め方をご協議いただき、より具体的な検討方法を整理したいと考えている。

議長
(柴崎委員長)

委員長報告・事務局の補足説明に対して、意見・質問等はないか伺う。

<なしの発言あり>

議長
(柴崎委員長)

特にご意見もないようなので、只今の報告・説明の中で提案された内容で進めてよいか。

<異議なしの発言あり>

議長
(柴崎委員長)

それでは、そのように決定する。

次に議事の(2)統合の検討に係る広報について、過日、総務部会で協議しているが、事務局より説明を求める。

事務局
(目黒補佐)

<事務局説明>

・この準備委員会の検討状況について、関係学校の保護者や地域の皆様に協議経過等の広報をしっかりと行うことが重要であると考えている。そうした広報を行うための広報紙となる。名称は『菖蒲地区新中学校統合だより』とし、第1号の内容としては、準備委員会の設置のお知らせ、委員の構成、専門部会の役割、今後のスケジュール概要、7月30日及び8月5日に開催した専門部会の概要、といったものになり、最後に、発行元の連絡先とホームページのURLを掲載して、9月中に発行したいと考えている。

今後も、会議の進捗に応じまして、概ね2ヶ月から3か月ぐらいの間隔で適宜発行し、決定事項を速やかにお知らせできるようにしたい。

・統合だよりの配布先は、菖蒲地区の小・中学校の保護者全世帯を対象に、学校を通じて配布するほか、地域の皆様には、行政区長に持参し、情報提供したいと考えている。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が沈静化し、回覧板などによる地域の回覧が可能となったら、各行政区を通じて回覧をお願いすることも考えている。

・統合だよりの印刷については、白黒の印刷とし、カラー用紙を使用するなどの工夫を講じてまいりたい。

議長
(柴崎委員長)

只今の説明や、広報紙の内容等について、ご意見・ご質問等があるか伺う。

<なしの発言あり>

<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>特にご意見もないようなので、広報紙については、資料の原案のとおり決定してよいか。</p> <p><異議なしの発言あり></p>
<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>それでは、そのように決定する。</p> <p>事務局には、速やかな広報紙の発行をお願いします。</p> <p>第2号以降の発行は、どのような手順となるのか伺う。</p>
<p>事務局 (目黒補佐)</p>	<p>統合だよりは、事務局である教育委員会から発行したいと考えているので、今後の紙面の作成、配布については、事務局にご一任していただきたい。</p>
<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>今後の発行に関して事務局の提案があったが、提案のとおりでよいか伺う。</p> <p><異議なしの発言あり></p>
<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>それでは、今後の発行は事務局に一任とする。</p> <p>続いて議事の(3)新校の制服等の検討について、学校運営部会長から報告を求めます。</p>
<p>学校運営部会長 (落合委員)</p>	<p><部会長報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・制服等に関する基本的な考え方として、次の3点に基づいて検討を進める。 <ul style="list-style-type: none"> 1つ目は、「統合時の新入生、現在の小学5年生であるが、その学年から新しい制服等に改めること」 2つ目は、「統合時の在校生、現在の小学6年生・中学1年生であるが、現在使用している制服等は、買い替え等による保護者の負担に配慮し、新校でも使用できるものとする」 3つ目は、制服等を改めるにあたって、制服等の機能や品質の確保、更には費用面でメリットのある「メーカーコンペ」という方法を採用し、メーカーの既製品の中からより適切なものを選定していくという方法で検討を進めること <p>以上の考えにより、今後、学校運営部会で検討を進めてまいります。</p> <p>事務局から補足説明を求めます。</p>
<p>事務局 (目黒補佐)</p>	<p><事務局補足説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営部会の中で、制服等については、LGBTへの配慮等も含めて検討した方が良いのではないかとのご意見が出されていたことを報告
<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>只今の説明等について、ご意見・ご質問等があるか伺う。</p> <p><なしの発言あり></p>
<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>特にご意見もないようなので、制服等の検討の進め方については、資料の原案のとおり決定してよいか伺う。</p> <p><異議なしの発言あり></p>

<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>それでは、そのように決定する。 続いて議事の(4)新校の学校教育目標等について、学校運営部会長から報告を求める。</p>
<p>学校運営部会長 (落合委員)</p>	<p><部会長報告> ・統合による新たな学校のあり方、生徒の目指すべき姿を示す、「学校教育目標」は、大変重要なものだが、地域住民を含め広く意識されていないという現状がある。そこで、学校教育目標は、生徒・教職員・保護者・地域住民など、学校に関わる全ての皆様にとって憶えやすい、意識しやすいものとしていく必要がある。 このたび、学校運営部会長である私が菖蒲南中学校の須田校長先生とも協議のうえ、今後の世の中で求められている資質、能力。さらに、来年度から完全実施となる新しい学習指導要領の趣旨、現在の両校の学校教育目標及び小中一貫教育という観点から、5つの小学校の現行の学校教育目標を踏まえた上で、検討案をお示しする。 内容は、『志高く、未来を切り拓く生徒の育成』と銘打ち、生徒の目指す姿として知・徳・体のバランスの取れた生きる力を育成する観点から、「自ら学ぶ生徒」・「心豊かな生徒」・「健やかな生徒」と掲げている。</p>
<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>只今の内容について、ご意見・ご質問等があるか伺う。 <なしの発言あり></p>
<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>特にご意見もないようなので、資料の原案のとおり決定してよいか伺う。 <異議なしの声あり></p>
<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>それでは、この案に沿って、さらなる検討を進めていく。 続いて議事の(5)新校の通学方法について、通学・PTA部会長から報告を求める。</p>
<p>通学・PTA部会長 (須田委員)</p>	<p><部会長報告> ・事務局から提案のあったスクールバスの運行案の概要について、この統合によって通学先が変わると、通学距離が概ね5キロメートルを超える地域があることなどを勘案し、安全な通学を確保するため、通学方法としてスクールバスを運行することが適当であると考えます。 また、事務局よりバスの運行経路案や想定通学路図が示されているので、今後、生徒や保護者などからご意見も伺いながら、経路やバス停の位置はどこが最も適切であるか、検討を進めます。 乗車対象につきましては、事務局から「稲穂通りよりも外側の地域、栢間地区の生徒を乗車対象とする」という説明があった。このことに対して、委員から「小林大上地区の生徒は通学距離が長く、バスに乗れないのか」、「菖蒲中校区の菖蒲塚田地区・河原井地区の通学距離と比較した場合、公平性があると言えるのか」、「柴山枝郷小塚地区は菖蒲中まで比較的近く、稲穂通りで乗車対象を区分するこ</p>

とについて、合理性が不十分である」などの意見があり、「バスの乗車対象に関しては、菖蒲地区全体をみても誰もが合理的に納得できる基準で区分すべきである」との課題が示された。

バスの運行経路や通学路の案、バスの乗車対象の考え方などについて、事務局で再検討した内容があれば、補足説明を求める。

事務局

(目黒補佐)

<事務局補足説明>

・バスの規模は、運行経路の道路幅員や形状、乗車対象の生徒数を考慮すると、中型サイズが適当であり、最大で39人乗りとなる。

運行する配車台数は1台で、部活動の時間帯なども考慮して、登校時に2便、下校時には状況に応じて2便から3便を運行する考えである。

運行経路と配車時間について、先日の通学・PTA部会で頂いた意見などを踏まえ、内容を再検討している。

上栢間地区で一か所、Aの位置・菖蒲第30区集会所のバス停を増やしたほか、県道行田蓮田線の通行を予定していた経路を、集落内の道路に切り替えている。

その後、B地点上栢間野菜集出荷場前、C地点鎮守の森公園を經由し、栢間小学校近辺を通って、D地点下栢間の宿集会所に向かう。続いて、下栢間の集落を抜け、小塚地区を通る市道菖蒲22号線に出て、柴山枝郷小塚地区で集落内の道路に入り、八雲神社前にEのバス停を置くものとした。そこから、稲穂通りや県道さいたま菖蒲線を經由し、菖蒲中学校へ向かう経路としている。

これらバス停等の見直しについては、バス停までの距離が遠すぎる、バスの停車がしにくく、子どもたちの待機場所が確保しにくい箇所がある、といったご意見をもとに、再検討したものである。

運行時間については、想定時刻表を作成しており、1便の運行に要する時間を概ね30～35分間と見込んでいる。

次に、バスの乗車対象については、生徒に通学方法の希望調査を行い、部活動などの事情により自転車通学を希望する生徒には、その希望を尊重する考えであり、乗車する人数は、概ね40人と想定している。

・バスの乗車対象の区分については、教育委員会の基本方針に定めております、統合により通学先が変更となり、片道の通学距離が概ね5キロメートルを超える生徒を対象とします。

この区分から乗車対象を割り出すと、上栢間地区、下栢間地区では片道の通学距離が概ね5キロメートルとなるので、バスの乗車対象となります。

その一方、小林地区については、菖蒲中学校まで最も遠い大上地区でも通学距離が概ね4キロメートルであるため対象外となり、また、菖蒲塚田地区や河原井地区についても、もともと通学距離が概ね4キロメートル程度ありましたが、統合による通学先の変更が生じないため対象外となります。

次に、柴山枝郷地区のうち、小塚地区については、菖蒲中学校へ最短で向かう場合、片道の通学距離が概ね3キロメートル強から4キロメートル未満ですが、トラック等の交通量が多い稲穂通りを横断することが大きな課題となります。これまでの警察協議では、当該道路に信号機や横断歩道を新たに設置する見込みがなく、日常の通学に危険を伴うことが考えられます。

このため、小塚地区については、通学の安全性を確保する観点から、スクールバスの乗車対象とするものです。一方、柴山枝郷の神ノ木・丸谷地区は、菖蒲中学校まで概ね2～3キロメートルと近いため、自転車通学を想定しております。

以上の点をまとめると、結果的に、スクールバスの乗車対象は、稲穂通りを境目として、その外側にあたる上栢間・下栢間・柴山枝郷小塚地区の生徒となる。

なお、現在の菖蒲南中学校生徒は、多くの生徒が稲穂通りを横断して通学しているが、これは県道川越栗橋線と交差する弁天沼交差点を通行しているものであり、この箇所は信号機や横断歩道が整備されている。通学先が菖蒲中学校に変更されると、弁天沼交差点を経由したら大幅な遠回りであるため、こうした通学経路は現実的でないと考えている。

稲穂通りは、弁天沼交差点以外の箇所だと、横断歩道がない、横断歩道があっても信号機がない、といった危険箇所しかないので、生徒の通学の安全性を確保するには、柴山枝郷小塚地区はバスの対象とすることが妥当である。

・次に、現段階で想定している自転車等による通学経路の案について、小林地区から菖蒲中学校までの経路と、栢間地区におけるバス停までの経路を想定しているが、栢間地区から自転車で菖蒲中学校まで通学する場合の経路も今後精査していく。

議長
(柴崎委員長)

只今の報告・説明につきまして、ご意見・ご質問等はございますか。

齋藤委員

通学バスの発着時刻表で想定が書いてある。朝2便で、帰りは部活等に合わせた時刻ということだが、その時に、雷雨等で部活が中止になって、早く帰ることになるような突発的な場合があると思う。また、行事があつて、他の学年と時間が違うというような場合もあると思う。急な状況への弾力的な対応というものをバス会社と考えていると思うが、そのあたりどのようになっているのか。

議長
(柴崎委員長)

今のご意見に対して、事務局に説明を求める。

事務局
(目黒補佐)

ここの時刻については、あくまで目安というご理解をいただきたい。一般の日課の範囲では概ねこのくらいということで参考までに載せている。

行事等に合わせた時刻の微調整については、予め分かっているものは、バス事業の受注業者と学校において、時刻をその都度調整していただき、保護者にお知らせしていく。これは、すでにバス運行をしている学校でそのような対応をしていることを確認している。また、雷雨等で急な天候変化等については、既にバスの時刻等は定まっているので、学校で一部待機をして計画的に乗るようにせざるを得ないと思う。

議長
(柴崎委員長)

只今、事務局から説明がありました。現在は検討中の段階という事でご理解をいただきたい。

他にご意見等あるか伺う。

<なしの発言あり>

議長

それでは、そのように決定する。

<p>(柴崎委員長)</p>	<p>スクールバスの経路やバス停などについては、引き続き、通学・PTA部会で検討をお願いします。</p> <p>以上で、本日の議事はすべて終了したが、全体を通してその他のご意見等があるか伺う。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>議案の時に申し上げれば良かったが、新校の校章が統合後に協議して決めるということだが、制服等を見ると校章がデザインされているものもあるし、ヘルメットなどにも入るのかなと思う。合併の時にも制服等に関する保護者の負担といったご意見が大変多くて、改めて校章が出来たときに、後付けで付けられるようにすることが出来るのか、買い換えなくて済むようにして保護者の負担にならないような考えでいただければありがたいと思いい意見とさせていただきます。</p>
<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>ただいまのご意見について事務局よりお願いします。</p>
<p>事務局 (目黒補佐)</p>	<p>今お話があった、例えばヘルメット等への校章を後から貼ったりすることが出来るのかというような細かい点については、どのような形が取れるのかということについて調査を深めていきたいと思う。後付けでシールやワッペンのようなもので付けられるのか。制服についても、例えばピンとかで止められるかなどどういった対応が出来るのか総合的に考えていきたい。</p> <p>校章については、基本的な考え方というものを総務部会で1度ご協議いただいた形なので、細かい部分は名前が決まってから、具体的に総務部会で内容を精査していただこうと考えている。</p>
<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>総務部会から何かあるか伺う。</p>
<p>総務部会副部長 (加藤委員)</p>	<p>学校名と校章と校歌をすべて一律にスタートするというのは、難しいのではないかとこの事もあって、まずは学校名を決定してから、校章、校歌というふうに進めていこうと考えている。学校名が決まらなないと、校歌を作る場合でも、学校名を校歌のなかで歌えないし、まず初めに学校名を決めようということが、手順としての第一段階で、順をおって対応していこうと考えている。</p>
<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>順番で、校名が決まってからということですね。</p> <p>他にご意見等あるか伺う。</p>
<p>関根委員</p>	<p>私も後からで申し訳ないが、統合だよりについて、私の職業柄各学校の生徒さんの保護者の方とお話する機会がある。委員に選ばれているということもあり、色々お話するが、統合自体をまだ認知されていない保護者の方が多くいると感じている。せっかく統合だよりというものを出すので、今一度小さくても構わないので、何日に菖蒲中学校と菖蒲南中学校の統合が決まったという文言を入れてもらいたい。知らない人からすると、いきなりの話になってしまうと思ったので提案させていただきます。</p>
<p>議長 (柴崎委員長)</p>	<p>只今、統合についての経緯などを統合だよりに載せて欲しいという提案があった。事務局は対応をよろしく申し上げます。</p>

事務局 (目黒補佐)	今のお話は新校設立準備委員会が始動しましたという記事があるが、その前のスペースに菖蒲中学校と菖蒲南中学校の統合の方針について触れられるように紙面のレイアウトを調整したいと思う。
議長 (柴崎委員長)	<p>よろしく願いいたします。</p> <p>他にご意見があるか伺う。</p> <p><なしの発言あり></p>
議長 (柴崎委員長)	<p>他にないようでしたら、本日の議事を終了し、議長の任を解かせていただく。委員の皆様におかれましては、ご協力ありがとうございました。</p>
司会 (森下主幹)	<p>4. その他</p> <p>委員長、ありがとうございました。</p> <p>なお、次回の準備委員会の会議については、各専門部会で必要な協議を進めていただいたうえで、11月ごろの開催を予定している。</p> <p>また、専門部会については、10月中に開催したいと考えている。</p>
司会 (森下主幹)	<p>5. 閉会</p> <p>閉会にあたり、齋藤副委員長にご挨拶をお願いする。</p>
齋藤副委員長	<p><齋藤副委員長あいさつ></p>
司会 (森下主幹)	<p>以上をもって、第2回会議を閉会する。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>